

●お出かけまえには.....	8
●お子さまを乗せるときは	11
●走行するときは	13
●駐・停車するときは	16
●オートマチック車を運転するときは	18
●こんなことにも注意	20
●こんなときは異常ではありません	22
●セルフ式ガソリンスタンドを利用するときは	23
●経済的な運転をするために	24
●イベントデータレコーダー	25

安全
ライフ
のため
に走行する前
に

走行するとき

使い
室
内
か
た
た
備
のつ車
きと
のい
の上
か手
たな万
一
のとき付
録

さくいん

△ 重要です。しっかりお読みください。



お出かけまえには

日常点検は必ず実施

- 車を安全にお使いいただくため、日常点検は必ず実施してください。
- 車の状態に応じて、適切な時期に実施することが法律で義務づけられています。
- 詳しくは、メンテナンスノートをお読みください。
- いつもと違うことに気がついたら日産販売会社で点検を受けてください。
(音・振動・臭い・水・油漏れなど)



TCA0001Z

タイヤの空気圧を点検する

- タイヤ空気圧が不足したまま走行すると、バースト(破裂)するなど思わぬ事故につながるおそれがあります。日常点検でタイヤの空気圧を点検してください。
- 詳しくは、207ページをお読みください。

バッテリーの液量を点検する

- バッテリーの液量が下限(LOWER LEVEL)以下になったまま使用、又は充電すると、バッテリーが爆発するおそれがあります。日常点検でバッテリーの液量を点検してください。
- 詳しくは、メンテナンスノートをお読みください。

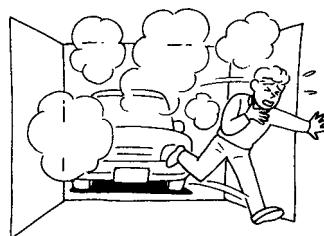
車にあった燃料を補給

- 指定以外の燃料は補給しないでください。
- 軽油や有鉛ガソリンを使用すると車に悪影響を与えます。
- 粗悪な燃料も車に悪影響を与えるので補給しないでください。

エンジン型式	使用燃料
HR15DE	無鉛レギュラーガソリン
MR18DE	

車庫や屋内ではエンジンをかけたままにしない

- 車庫や屋内など換気が悪い所では、排気ガスが充満しやすいため、エンジンをかけたままにしないでください。排気ガスには無色無臭で有害な一酸化炭素が含まれているため、吸い込むと一酸化炭素中毒になるおそれがあります。



TCA0002Z

△ 重要です。しっかりお読みください。



お出かけまえには

正しい運転姿勢に調節

- 走行前にシート、ハンドル、ヘッドレストの位置を正しい運転姿勢がとれるように調節し、ドアミラー、ルームミラーなどを後方視界が十分確認できる位置に調節してください。

シートベルトは正しく着用

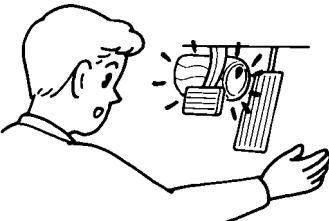
- 走行する前に必ず全員がシートベルトを着用してください。
- シートベルトは正しく着用しないと、ベルトの効果が十分発揮できなかったり、ベルトによりケガをするおそれがあります。正しい座姿勢で正しく着用してください。
- SRSエアバッグは、シートベルトの補助装置でシートベルトに代わるものではありません。シートベルトは必ず着用してください。



TCA0003Z

運転席足元には物を置かない

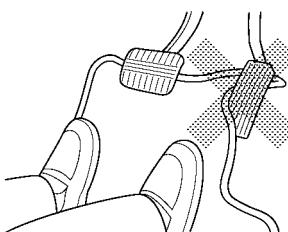
- 足元のまわりにあき缶などの物を置かないでください。
- ブレーキペダルやアクセルペダルに物が挟まるとき、ペダルの操作ができなくなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。



TCA0004Z

車に合わないフロアカーペットは使わない

- この車(年式)専用のフロアカーペットを、床の上にしっかりと固定して正しく使用してください。フロアカーペットがずれて各ペダルと干渉し、思わぬスピードが出たりブレーキが効きづらくなるなど、重大な傷害につながるおそれがあります。



ESD0143Z

○ フロアカーペット…166ページをお読みください。

目次

安全・快適力のため

走行する前

走行するとき

使い内か装備の

つ車きどあいの上か手たな

万のとき

付録

さくいん

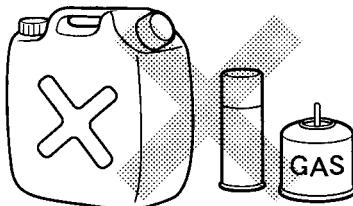
△ 重要です。しっかりお読みください。



お出かけまえには

燃料が入った容器やスプレー缶などを積まない

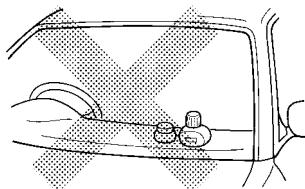
- ガソリンや可燃性ガスの入ったスプレー缶などは積まないでください。引火や爆発するおそれがあり危険です。



TCA0005Z

インストルメントパネルの上に物を置かない

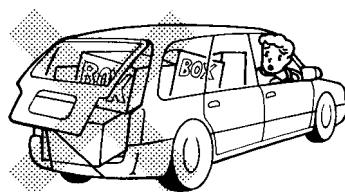
- アクセサリーや芳香剤などを置かないでください。SRSエアバッグが作動したときの衝撃で飛び、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 走行中に移動しやすい物や、視界を妨げるような大きい物は置かないでください。安全運転の妨げになり、思わぬ事故につながるおそれがあります。



TCA0006Z

荷物を積みすぎない

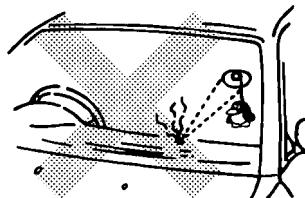
- 助手席や後席に荷物を重ねて積まないでください。急ブレーキなどのとき荷物が落ちてきて、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ラゲッジルーム（荷室）に荷物を置くときは、背もたれの高さを越えないようにしてください。



TCA0244Z

アクセサリーの取り付けに注意

- ウインドーにアクセサリーを取り付けると、視界の妨げになったり、吸盤がレンズの働きをして火災を起こしたり、SRSエアバッグが作動したときアクセサリーが飛んでケガをするなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。



TCA0029Z

△ 重要です。しっかりお読みください。



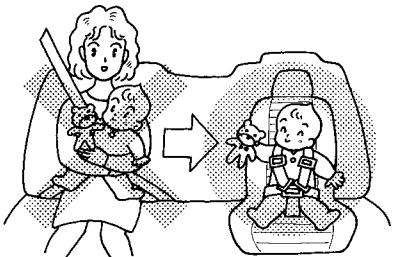
お子さまを乗せるときは

お子さまは後席に

- 助手席に乗せるのはできるだけ避けてください。お子さまの動作が気になったり、スイッチ、レバー類のいたずらなど安全運転の妨げになるおそれがあります。
また、助手席SRSエアバッグの格納部に近づいていると、万一の事故などでSRSエアバッグが作動したときに強い衝撃を受け、重大な傷害につながるおそれがあります。

お子さまにもシートベルトを着用

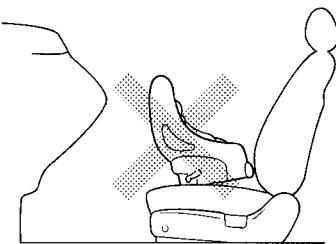
- お子さまにも必ずシートベルトを着用させてください。お子さまを抱いていると、衝突時などに支えることができず、お子さまが重大な傷害を受けるおそれがあります。
○54ページも合わせてお読みください。
- シートベルトが首や顔に当たったり、腰骨に掛からないような小さなお子さまには、チャイルドシートをお使いください。
○61ページも合わせてお読みください。



TCA0008Z

チャイルドシートは後席に

- チャイルドシートは後席に取り付け、走行する前に確実に固定されていることを確認してください。
固定方法及び取り扱いかたは、チャイルドシートに付属の取扱説明書に従ってください。
- 助手席には、チャイルドシートを後ろ向きに取り付けることはできません。SRSエアバッグが作動したときに強い衝撃を受け、生命にかかる重大な傷害につながるおそれがあります。やむを得ず助手席に取り付けるときは、シートをできるだけ後ろに下げ、必ず前向きに取り付けてください。
- チャイルドシートは使用していないときでもシートにしっかりと固定するか、荷室などに収納してください。室内に放置したままにすると、急ブレーキ時などに思わぬ事故につながるおそれがあります。



TCA0355Z

○61ページも合わせてお読みください。

目次

安全・快適力のため

走行する前に

走行するとき

使室内に装備の

つ車きとあいの上か手たな

万一のとき

付録

さくいん

△ 重要です。しっかりお読みください。



お子さまを乗せるときは

ドア、ウインドーなどは大人が操作

- ・ドア、ウインドーなどの開閉は、お子さまには操作させないでください。開閉時に手、首、足などを挟んだりして、重大な傷害につながるおそれがあります。
- ・パワーウィンドーロックスイッチは必ず押し込んでおいてください。
○詳しくは、39ページをお読みください。
- ・チャイルドセーフティドアロックはロック側にしておいてください。お子さまがひとりでドアを開けると危険です。
○詳しくは、32ページをお読みください。

窓から手や顔を出さない

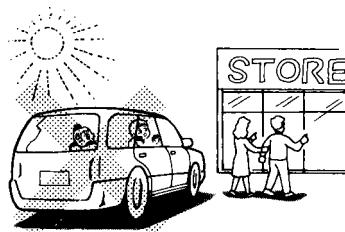
- ・お子さまが手や顔を出さないように注意してください。急ブレーキ時に窓枠などにぶつかったり、車外の障害物に当たったりして、重大な傷害につながるおそれがあります。



TCC0005Z

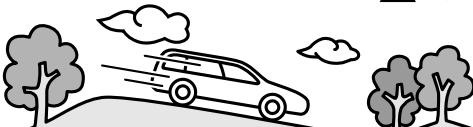
車内にお子さまだけを残さない

- ・車から離れるときは、必ずお子さまと一緒に降ろしてください。炎天下では車内が高温になり、生命にかかわるおそれがあり危険です。
- ・お子さまのいたずらで車の発進、火災など、思わぬ事故につながるおそれがあります。



TCA0245Z

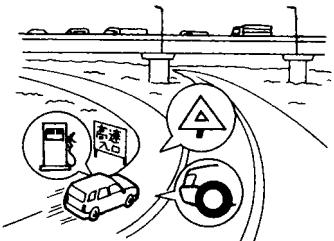
△ 重要です。しっかりお読みください。



走行するときは

高速道路に入る前には燃料などを再確認

- ・燃料は十分補給してください。高速道路上での燃料切れは危険です。
- ・タイヤの空気圧が不足していないか確認してください。空気圧不足の状態で高速走行をすると、バースト（破裂）するおそれがあり危険です。
- ・万一のために停止表示板（停止表示灯）を車に備えておいてください。停止表示板（停止表示灯）の表示は、法律で義務づけられています。（別売りです。）



TCA0184Z

車のためにならし運転を

- ・エンジン本体、駆動系などこの車両の持っている性能を十分に引き出すためには、ならし運転が必要です。
走行距離約1,600kmまでは適度な車速、エンジン回転数で運転してください。

走行中はエンジンを止めない

- ・エンジンが止まると、極度にハンドル操作力が重くなったり、ブレーキの効きが悪くなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。



TCE0041Z

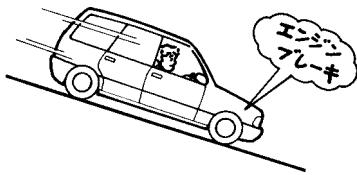
長い下り坂ではエンジンブレーキを併用

- ・ブレーキペダルを踏み続けると、ブレーキが過熱して効きが悪くなるおそれがあり危険です。坂の勾配に応じてエンジンブレーキを併用してください。（エンジンブレーキとは走行中アクセルペダルから足を離したときに発生するブレーキ力です。）
- ・4AT車はセレクトレバーを②又は①に入れます。

CVT車は坂の勾配に応じて最適なエンジンブレーキになるよう自動化してありますが、特に強いエンジンブレーキが必要なときは、セレクトレバーを④に入れます。

ただし、CVT-M6車でマニュアルモードにしたときは、マニュアル車同様に坂の勾配に応じた低速ギヤに入れてください。

○詳しくは、123ページをお読みください。



TCB0065Z

目次

安全・快適力のため

走行する前に

走行するとき

使い内か装備の

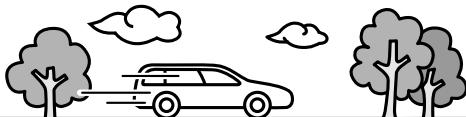
つ車きどのが上か手たな

万のとき

付録

さくいん

△ 重要です。しっかりお読みください。



走行するときは

雨天時の走行は速度を落とす

- 路面がぬれると滑りやすくなります。
通常より注意して安全運転に心がけてください。
- わだちなどにできた水たまりに高速で進入すると、タイヤが水に乗った状態（ハイドロブレーニング現象）になり、ハンドルやブレーキが効かなくなり危険です。スピードを落として走行してください。特に摩耗したタイヤは、ハイドロブレーニング現象が起こりやすいので注意してください。
- 冠水路など深い水たまりは走行しないでください。エンジン破損や車両故障につながるおそれがあります。



TCA0015Z

タイヤを傷つける運転をしない

- 道路の縁石などにタイヤの側面を接触させたり、道路上の凹みや突起物の乗り越しなどは避けてください。タイヤを傷つけるおそれがあります。

水たまり走行後はブレーキの効きを確認

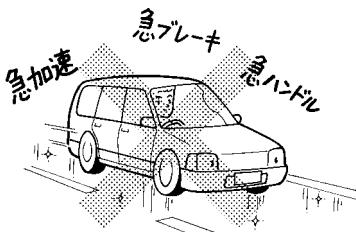
- 水たまり走行後や洗車後は、ブレーキの効きが悪くなることがあります。ブレーキペダルを軽く踏んで効きを確認してください。
- 効きが悪いときは、周囲の安全に十分注意しながら低速で走行し、効きが回復するまでブレーキペダルを繰り返し軽く踏んでください。



TCA0557Z

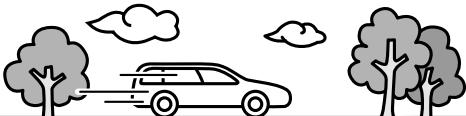
滑りやすい路面を走行するときは慎重に

- ぬれた路面や凍結路、積雪路などではスピードを落としてください。
- 急加速、急ブレーキ、急ハンドル、急激なエンジンブレーキは避けてください。タイヤがスリップしやすく、思わぬ事故につながるおそれがあります。



TCA0558Z

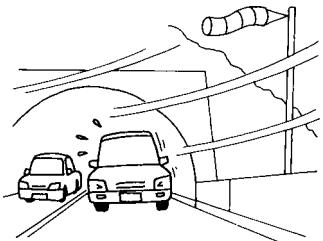
△ 重要です。しっかりお読みください。



走行するときは

横風が強いときは

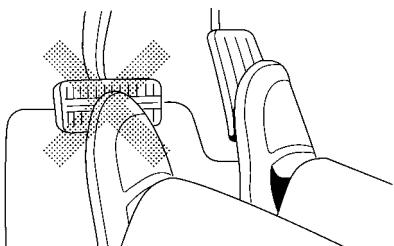
- ・横風を受け、車が横に流されるようなときは、ハンドルをしっかりと握ってスピードを徐々に落してください。
- ・トンネルの出口、橋の上、切り通しなどは特に横風が発生しやすいので注意してください。



TCA0018Z

ブレーキペダルに足をのせたままにしない

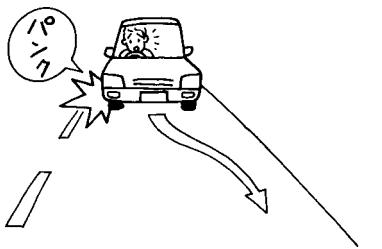
- ・ブレーキペダルに足をのせたまま走行しないでください。ブレーキの部品が早く摩耗したり、ブレーキが過熱し効きが悪くなるおそれがあります。



TCA0019Z

走行中に異常があつたら

- ・警告灯が点灯したら、ただちに安全な場所に停車し、適切な処置をしてください。そのまま走行すると思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ・詳しくは、84ページをお読みください。
- ・走行中にタイヤがパンクやバースト(破裂)したときは、あわてずにハンドルをしっかりと握ってスピードを徐々に落とし、安全な場所に停車してください。急ブレーキや急ハンドルを行うと、車両がコントロールできなくななり危険です。
- ・床下に強い衝撃を受けたときは、ただちに安全な場所に停車し、ブレーキ液や燃料の漏れ、マフラーなど車体下部の各部に損傷がないか確認してください。漏れや損傷がある場合は、日産販売会社に連絡してください。



TCA0020Z

目次

安全・快適力のため

走行する前に

走行するとき

使い内か装備の

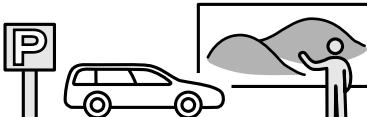
つ車きとのいの上か手たな

万一のとき

付録

さくいん

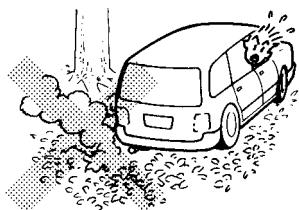
△ 重要です。しっかりお読みください。



駐・停車するときは

燃えやすい物の上や近くに駐・停車しない

- 枯れ草、紙、木材、油など燃えやすい物の上や近くには駐・停車しないでください。排気管や排気ガスは高温になるため着火するおそれがあり危険です。
- 車両後方に木材、ベニヤ板などの可燃物があるときは、車両後端から十分に距離をとって駐・停車してください。すき間が少ないと、排気ガスにより変色や着火するおそれがあります。



TCA0247Z

車から離れるときは必ずエンジンを止め施錠する

- 無人で車が動き出したり、盗難など思わぬ事故につながるおそれがあります。車から離れるときは、必ずパーキングブレーキをかけ、エンジンを止めてから施錠してください。
- お子さまや介護が必要な方を車内に残したままにしたり、貴重品を置いたままにしないでください。

仮眠するときは必ずエンジンを止める

- 無意識にセレクトレバーを動かしたり、アクセルペダルを踏み込んだりして、車の不意な発進やエンジン過熱による火災など、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。
- エンジンをかけたままエアコンを内気循環にして長時間使用すると、排気管に腐食や損傷による穴や亀裂があった場合、排気ガスが車内に侵入して一酸化炭素中毒になるおそれがあります。



TCA0559Z

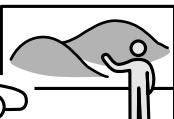
ハンドルをいっぱいに切った状態を長く続ける

- 車庫入れなどで、エンジンをかけたままハンドルをいっぱいに切った状態を長く続けると、ハンドル操作力が重くなることがあります異常ではありません。
- 詳しくは、EPS(電動パワーステアリング)警告灯…90ページをお読みください。



TCA0560Z

△ 重要です。しっかりお読みください。



駐・停車するときは

坂道駐車はパーキングブレーキを確実に

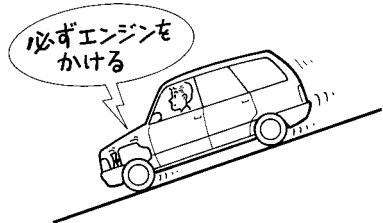
- 無人で車が動き出すなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- パーキングブレーキを確実にかけ、セレクトレバーをPに入れてください。
更にタイヤに輪止めをすると効果があります。



TCA0561Z

車の移動はエンジンをかけて

- 必ずエンジンをかけて移動してください。エンジンをかけないで坂道を利用した移動は、極度にブレーキの効きが悪かったり、ハンドル操作力が重くなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。



TCA0249Z

エンジンをかけたまま小休止するとき

- エンジンをかけたまま仮眠や長時間駐車はないでください。
- 冬場の駐車など暖房をせざるを得ない状況で、やむを得ずエンジンをかけたまま長時間駐車するときは、以下のことを確認してから駐車してください。
 - *換気の悪い車庫や屋内など排気ガスが充満するような場所でないこと。
 - *他車の排気口が近くにないこと。
 - *エアコンが内気循環になっていないこと。
 - *大雪などで、スッポリと埋まる可能性がないこと。
 - *セレクトレバーやアクセルペダルに、無意識に触れることがないよう後席に座ること。

目次

安全・快適力のため

走行する前

走行するとき

使い内か装備の

つ車きとのい上か手たな

万一のとき

付録

さくいん

△ 重要です。しっかりお読みください。



オートマチック車を運転するときは

オートマチック車はその特性や操作上の注意をよく理解することが大切です。

○詳しくは、119ページの「オートマチック車の運転のしかた」も合わせてお読みください。

クリープ現象に注意

- エンジンがかかっているとき、セレクトレバーをP、N以外に入れると、アクセルペダルを踏まなくても車が動き出します。(これをクリープ現象といいます。)
- 停車中はブレーキペダルをしっかりと踏んでください。特にエンジン始動直後やエアコン作動時など、エンジン回転数が上がっているときは、動く力が強くなりますので、しっかりと踏んでください。



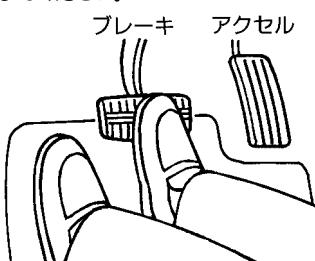
TCA0250Z

キックダウンは適切に

- セレクトレバーが4AT車はD、2で、CVT車はDで走行中にアクセルペダルをいっぱい踏み込むと、自動的に低速ギヤに切り替わり急加速が得られます。(これをキックダウンといいます。)
- 滑りやすい路面や急カーブではキックダウン操作を避けてください。キックダウンすると、タイヤがスリップして思わぬ事故につながるおそれがあります。

ペダルの位置を確認

- ペダルの踏み間違いは思わぬ事故につながります。エンジンをかける前に必ずペダルの位置を確認してください。
- アクセルペダルとブレーキペダルは右足で操作してください。



TCA0579Z

セレクトレバーの操作は正しく確実に

- 発進時はブレーキペダルを踏んでセレクトレバーを操作してください。アクセルペダルを踏んだ状態で操作すると、急発進して危険です。
- 後退したあとは、すぐセレクトレバーをRからNに戻す習慣をつけてください。

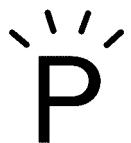
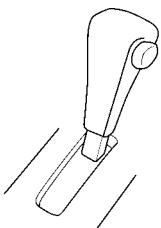
△ 重要です。しっかりお読みください。



オートマチック車を運転するときは

セレクトレバー位置は目で確認

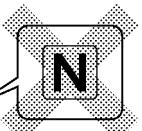
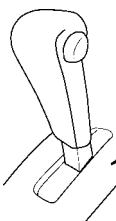
- ・エンジンをかけるときは**P**、前進するときは**D**、後退するときは**R**にあることを目で確認してください。
- ・キースイッチ(イグニッションノブ)がONのとき、セレクトレバーを**R**に入れると、後退位置を知らせるブザーが車内で鳴ります。(車外の人に注意するものではありません。)



メーター内インジケーター
ESF0301Z

走行中は**N**にしない

- ・走行中にセレクトレバーを**N**にすると、エンジンブレーキが全く効かなくなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。また、トランクスアクスルが故障する原因となります。



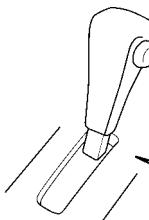
ESF0302Z

無用な空吹かしはしない

- ・万一、セレクトレバーが**P**、**N**以外に入っていると、急発進し、思わぬ事故につながるおそれがあります。

駐車するときは**P**にする

- ・エンジンがかかったまま、セレクトレバーが**P**、**N**以外に入っていると、クリープ現象で車が動き出したり、誤ってアクセルペダルを踏み込むと急発進したりして、思わぬ事故につながるおそれがあります。



ESF0303Z

シフトロックシステム

オートマチック車を安全にお使いいただくために、シフトロックシステムが付いています。よく理解して正しく操作してください。

- 詳しくは、116ページをお読みください。
- ・キースイッチ(イグニッションノブ)がONのときは、ロック装置が作動し、ブレーキペダルを踏んでいないと、**P**からセレクトレバーを動かすことができません。
- ・セレクトレバーを**P**に入れないと、キースイッチ(イグニッションノブ)からキーが抜けません。

目次

安全・快適力のため

走行する前に

走行するとき

使い内か装備の

つ車きとの上か手たな

万のとき

付録

さくいん

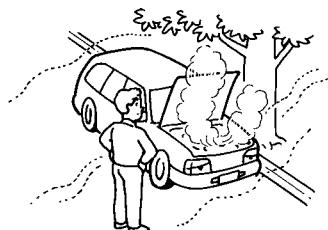
△ 重要です。しっかりお読みください。



こんなことにも注意

ラジエーターが熱いときはキャップを外さない

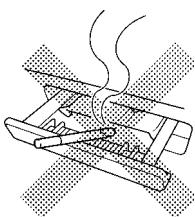
- ・ラジエーター やリザーバータンクが熱いときはキャップを外さないでください。
蒸気や熱湯が噴き出し危険です。
- ・冷却水の補給は温度が下がってから行ってください。



TCA0214Z

タバコの吸いがらの火は消して

- ・タバコやマッチなどの火は確実に消し、灰皿のふたは必ず閉めてください。
- ・灰皿の中には吸いがらを入れすぎたり、燃えやすい物を入れないでください。



ESF0304Z

炎天下で駐車するときは

- ・炎天下で駐車するときは、車内にライターや炭酸飲料の缶、サングラス、カメラなどを置いたままにしないでください。車内が高温になり、爆発したり変形するおそれがあります。

ガスライターにも注意

- ・操作部が露出しているガスライターをグローブボックスなどに入れておいたり、床やシートのすき間に落としたままにしないでください。荷物を押し込んだときやシートを動かしたときに、ガスが噴出して、火災につながるおそれがあります。

工具や布などの置き忘れに注意

- ・点検や清掃に使用した工具や布などを、エンジンルーム内に置き忘れないようにしてください。故障や車両火災につながるおそれがあります。

薬を服用したときは運転しない

- ・力ゼ薬など眠けをもよおす薬を服用された方は運転を避けてください。

△ 重要です。しっかりお読みください。

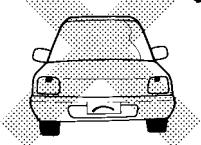


こんなことにも注意

違法改造はしない

- 車の性能や機能に適さない部品を装着したり、自己流のエンジン調整や配線などを行わないでください。正常な性能を発揮できなかったり、故障や火災など思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 日産が国土交通省に届け出をした部品以外の物を装着すると、違法改造になることがあります。

違法改造



TCA0030Z

- 次のような場合には日産販売会社にご相談ください。

*タイヤ、ロードホイールの交換

指定以外のタイヤやロードホイールを装着しないでください。性能や機能に支障をきたし、安全な走行ができなくなるおそれがあります。

*電装品、無線機などの取り付け

適切でない電装品や無線機などを取り付けてください。電子機器部品に悪影響を及ぼしたり、誤った配線は故障や火災など、思わぬ事故につながるおそれがあります。

また、バッテリー端子に電装品やアース線などを直接つながないでください。バッテリーがあがる可能性があります。

(詳しくは、日産販売会社へご相談ください。)

*ハンドルの取り外しや交換

ハンドルの取り外しや交換を不適切に行うと、SRSエアバッグが正常に作動しなかったり、不意に作動したりして、思わぬ傷害を受けるおそれがあります。

冷却水に添加剤などを入れない

- 冷却水には、市販されている水漏れ防止剤などの添加剤を入れないでください。冷却装置に悪影響を及ぼし、車両故障につながるおそれがあります。
- 冷却水は、日産純正スーパーロングライフクーラントを必ずご使用ください。

電話は安全な場所に停車して

- 運転しながらのハンズフリー以外の自動車電話や携帯電話などの使用はやめてください。周囲への注意力が低下し、思わぬ事故につながるおそれがあります。



TCA0031Z

フロントバンパーと路面の干渉に注意

- フロントエアロバンパー装着車は路面との間隔が狭いため、段差の大きい場所や縁石などに特に注意してください。フロントエアロバンパーが路面と干渉して、破損するおそれがあります。

目次

安全・快適力のため

走行する前に

走行するとき

使い内か装備の

つ車きどあのい上か手たな

万のとき

付録

さくいん

△ 重要です。しっかりお読みください。



こんなときは異常ではありません

ブレーキペダルを踏むと音がする

- ・朝一番及び長時間駐車後の走り始め、又は降雨後や洗車後など湿気が多いときにブレーキペダルを踏むと、“キー”という音がする場合があります。この音はブレーキパッドが水分を吸収し、表面の摩擦力が一時的に変化したため異常ではありません。
- ・高性能スポーツブレーキパッド採用車は、スポーツ走行用の摩擦係数のきわめて高いブレーキパッドを採用しているため、従来のブレーキパッドに比べ、ブレーキを緩め発進するときや停止する間際に“グー”や“キー”といった音が発生する場合があります。
- ・これらの音がときどきするのは異常ではありませんが、頻繁に音がする場合は、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。

ヘッドライトなどのレンズ内面がくもる

- ・ヘッドライト、制動灯などは、雨天走行や洗車などにより、レンズ内面が一時的にくもることがあります。またヘッドライト内と外気との温度差により、レンズ内面が結露することもあります。これは雨天時などに窓ガラスがくもると同様の現象で、機能上の問題ではありません。
- また、レンズの構造上、レンズのふちに水滴が付着することがありますが、機能上の問題ではありません。
- ただし、ランプ内に水がたまっている場合やレンズ内面に大粒の水滴が付着している場合は、日産販売会社にご相談ください。

△ 重要です。しっかりお読みください。



セルフ式ガソリンスタンドを利用するときは

燃料給油時に必ず守ること

- ・エンジンを必ず止め、車のドアや窓は閉めてください。
- ・タバコを吸うなど火気を近づけないでください。
- ・フューエルキャップを開ける前に、金属部分に触れて身体の静電気を除去してください。身体に静電気を帯びていると、放電による火花で燃料に引火したり、やけどをするおそれがあります。
- ・補給口のリッドを開ける操作から給油が完了するまでの作業は、必ずひとりで行ってください。
給油作業中の人は以外は、帯電しているおそれがあるため、給油口に近づけないでください。
- また、給油の作業を行う人は、給油中に再び車内のシートに戻らないでください。再帯電するおそれがあります。
- ・フューエルキャップはツマミ部分を持って回してください。
○開閉操作は、40ページをお読みください。
フューエルキャップは純正品以外は使用しないでください。
- ・給油ノズルは確実に給油口へ挿入してください。給油ノズルの挿入が浅いと、給油の自動停止が遅れるため、燃料が吹きこぼれ火災につながるおそれがあります。
- ・給油ノズルの自動停止後は、給油の継ぎ足しをしないでください。継ぎ足しをすると、燃料があふれて火災につながるおそれがあります。
- ・ガソリンスタンド内に掲示されている注意事項は必ず守ってください。

燃料給油時は注意

- ・給油時に気化した燃料を吸わないようにしてください。

目次

安全・快適力
ライフのために

走行する前に

走行するとき

使い内
か装備のつ車
きとの
いの上
か手
たな万
一のとき付
録

さくいん

△ 重要です。しっかりお読みください。



経済的な運転をするために

もっと燃費を向上するには

*無用なアイドリングをやめる（アイドリングストップ）

人待ちや荷降ろしなどで駐・停車するときは、エンジンのかけっぱなしをやめましょう。

*経済速度で走行する

一般道路なら時速40km程度、高速道路なら時速80km程度で走行するのが経済的な走りかたです。

*点検・整備をきちんとし、タイヤの空気圧を適正にする

*無駄な荷物を積まない

車のエンジンは荷物の重さに敏感です。

*無駄な空吹かしをやめる

10回の空吹かしは乗用車でガソリン約60ccの燃料が無駄になります。

*急発進、急加速、急ブレーキをやめ、適切な車間距離をとる

*渋滞をまねく違法駐車をしない

迷惑駐車は交通渋滞をもたらし余分な排気ガスを出させる原因になります。

*エアコンの使用を控えめにする

エアコン使用時はエンジンの回転数が高くなるため、結果として燃料の使用量が増加します。まことに適正な温度に調節することが重要です。

△ 重要です。しっかりお読みください。



イベントデータレコーダ

車両データの記録・蓄積について

・この車両に装備されている以下システムの各コンピューターはEDR（イベントデータレコーダ）機能を備えています。

以下システムの各コンピューターは正常に作動しているかどうかを常に診断し、EDRで車両が衝突したときの車両データを記録・蓄積しています。

〈SRSエアバッグシステム〉

- ・SRSエアバッグシステムが作動したときに下記車両データを記録・蓄積します。
 - *エアバッグシステムの作動に関する情報
 - *エアバッグシステムの故障診断情報



知識

- ・EDR（イベントデータレコーダ）は一般的なデータレコーダとは異なり、会話などの音声や映像は記録しません。

データの扱いについて

・日産自動車および日産自動車が委託した第三者は、EDRに記録されたデータを日産自動車の車両衝突安全性能の向上を目的として、取得・利用することがあります。

なお、日産自動車および日産自動車が委託した第三者は、取得したデータを以下の場合を除き、第三者へ開示・提供することはありません。

- ・車両の使用者の同意がある場合
- ・裁判所命令など、法的強制力のある要請に基づく場合
- ・統計的な処理を行うなど、使用者や車両が特定できないように加工したデータを研究機関などに提供する場合

目次

安全・快適力のため

走行する前に

走行するとき

使室いか装备の

つ車きとの上あいか手たな

万のとき

付録

さくいん

